

国際会議から

アメリカ気象学会 第99回年会

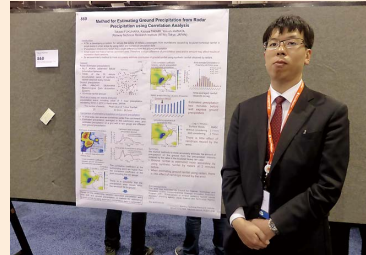
本会議は、気象・水文に関する会議で、年1回開催され、99回目の開催となる今年はアリゾナ州フェニックスで開催されました。今回は40を超えるフォーラム、シンポジウム、会議が一堂に会し、口頭・ポスターをあわせて3000を超える発表がありました。この中で筆者は水文に関する会議に参加し、リモートセンシングに関するセッションにおいて、都市部での短時間強雨における鉄道の減災に資する研究として、気象レーダーで得られた降水分布より地上での降水分布を推定する手法に関する成果を発表しました。会場では、研究成果の活用法など、実用化に関して有益な議論をすることができました。

このほかにも竜巻などの局地的なものから気候変動まで多岐にわたる分野について、理論、気象レーダーなどの観測、数値シミュレーション、機械学習などを用いた研究に関する発表ならびに気象観測機器の展示会があり、最新の研究・調査技術や観測機器に関する知見が得られました。

会場となったフェニックスは基盤の目のような街区で、バスや路面電車などの公共交通機関が整備されており、市街地内の移動は便利でした。



会場のフェニックス・コンベンション・センター



福原隆彰  
防災技術研究部  
気象防災研究室  
副主任研究員

- 正式名称：American Meteorological Society 99th Annual Meeting
- 開催国：アメリカ合衆国(アリゾナ州フェニックス)
- 期間：2019/1/6～10
- 主催：American Meteorological Society
- 開催頻度：年1回
- 次回開催予定：2020年1月(ボストン)
- ホームページURL：<https://annual.ametsoc.org/index.cfm/2019/>